

保健師

ルポ

大和村の紹介

奄美大島は、鹿児島県本土から約380km南にあり、アクセス方法は、飛行機、フェリーの2つです。

大和村は、奄美大島本島の中央に位置し、奄美空港から車で約90分、名瀬港から約35分で到着する東シナ海に面する山岳地形の村です。総面積の約87%を森林が占めており、耕地面積が少ないため、農業では傾斜地を利用した「すもも」や「たんかん」の果樹栽培が盛んです。特にすももは、本村で栽培している花螺李（カラリ）種の生産量は日本一で、平成25年と27年には皇室献上いたしました。

また、本村は、奄美大島の中で一番小さく、令和3年6月末現在人口1428人、860世帯、高齢化率42・37%（内56%が後期高齢者）です。奄美大島の多くの地域と同様に、大和村でも人口減少が続いています。近年、出生数が毎年10名前後で推移しており未就学児が約60名います。進学などのために一旦は大和村を離れる方が多いですが、時を経て帰村する方もいて、伝統的な集落行事の存続の一翼を担ってくれています。

多くの事業を担う保健福祉課

私が所属している大和村役場保健福祉課には大和村地域包括支援センターが併設されており、各段階のライフステージに応じた事業を多数実施しています。妊産婦、乳幼児、特定健診、長寿健診などの各種健診や保健指導、介護予防や在宅医療への支援などがあります。そのほかにも、国民健康保険や後期高齢者医療、保育所や放課後児童、生活保護や生活困窮者支援、障害者支援なども保健福祉課で担っています。

このように、子供から高齢者まで一つの課で情報を共有することができるといえる環境は強みだと思っています。守秘義務を遵守しつつ、住民が安心して生活できる環境を整えていくために、事務職から専門職まで知恵を出し合い協力して事業を展開しています。

その中で、今年度、高齢者の保健事



健康教室の様子

保健師として「健康とは何か」を住民へ伝えることの重要性

大和村 保健福祉課包括支援係長 兼 保健師

田中 あさみ

大和村地域包括支援センターの専門職のみなさん(筆者中央)

業と介護予防の一体的な実施へ向けた準備を始めました。地域分析を行うにあたって事務職の意見は非常に重要です。専門職だからこそ見落としていることの気づきがあり、多くの事業を担っている課だからこそ多様な意見交換ができています。高齢化率の高い大和村でもできる保健事業を展開していけるようにしたいと思っています。

保健師として

村の保健師は3名で、全員が保健福祉課に配属されています。その中で、私は経験が一番浅く、先輩保健師から日々多くのことを学ぶ毎日を過ごしています。今年で入職8年目ですが、入職後から主に地域包括支援センターの業務を担っています。高齢者と関わる機会が多くあり、人生の大先輩方の生活している姿を見て感じることがあります。それは、「私達の年代は、終戦後を体験してきた方々と同じように、年をとっても元気に過ごすことができるのだろうか。」ということ。昔の移動手段は、ほとんど徒歩に限られていました。若い時に培われた基礎体力が、現在の高齢者の元気の源となっているように感じます。

では私達は？と考えたとき、便利な世の中であるが故に、現在の高齢者ほどの

基礎体力はないだろうと感じています。

だからこそ、「健康とは何か。健康づくりとはどういうことか。」を様々な年代へ伝えていくことは重要であり、保健師の役割は大きいと思っています。

ある先輩保健師が話していました。「健康づくりは地域づくり」である。そして、ある住民が話していました。「人は人との関わりの中でしか生きていけない。」と。

毎日を健康的に過ごすということは、病気を持ちながらも人との繋がりの中で元気に過ごしていくことであると大和村の高齢者が教えてくれています。健康に気を付けるということは、自分の人生の最期が充実した日となるための一つの手段であり、私が持っている保健師という資格が少しでもその一助になればいいなと思っています。

観光地の紹介

奄美大島本島最高峰の「湯湾岳」(別名、奄美岳694m)。平成29年3月に奄美群島国立公園に指定され、湯湾釜山頂付近は特別保護地区となっています。湯湾岳は、雲霧林で霧に包まれることが多く、頂上から麓にかけて生育する植物が異なることが特徴です。アマミノクロウサギをはじめ希少動植物の宝庫と



奄美大島本島最高峰の「湯湾岳」
(別名、奄美岳694m)

なっています。また、湯湾岳は、奄美大島開闢の祖である二柱の神が降り立ったところとしても崇められております。

次に、時折イルカが姿を見せ、冬場にはクジラを見ることが出来る「宮古崎」。東シナ海に突き出た岬で、大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像が撮影された場所であり、見渡す限りの水平線と高低差のあるダイナミックな地形を楽しむことができます。

最後に、島内唯一の高倉群である「大和浜の群倉」。高倉は、釘を一本も使わない最古の建築様式で建てられた穀物貯蔵庫であり、高倉の集合体で現存するのはこの大和浜の群倉だけで県の文化財に指定されています。

このように、大和村は深い山と美しい海があり、時にダイナミックな自然の風景が目前に現れます。コンビニも大きなレストランもありますが、ほっとするような、お昼寝したくなるような、の



県の文化財に指定されている「大和浜の群倉」



大河ドラマ「西郷(せご)どん」のオープニング映像が撮影された「宮古崎」

んびりとした雰囲気が村全体を包んでいます。湯湾岳のすそ野に流れる小川で涼んだり、人気の少ないビーチで夕日を眺めたり、地元の人と世間話をしたり、南国の素朴な田舎へ、心を満たしにぜひお越しください。